



NEWSLETTER FOR THE JAPANESE
ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH
(JADR)

国際歯科研究学会日本部会 会 報

1985-I

2月

I. 1984年第5回理事会

日 時：11月15日(木) 3:00pm

場 所：オークラホテル新潟

出席者：須賀会長、小椋副会長、三浦次期会長、田熊、小沢、吉田、小林各理事、
常光事務局長

1. 報告事項

1) 庶務報告 (事務局長より)

①昭和59年10月31日現在の会員数は正会員679名、名誉会員3名、終身会員16名、退会者(会費未納3年以上の会員を自然退会者として事務的に処理した)19名、新入会員46名で、現在の会員数は計698名である。また賛助会員は7社となっている。

②会費納入状況について

会費納入者率は78%で、未納入者率は22%となっており、事務局より早く納入して頂くよう催促している。

③第33回JADR大会の開催地について

理事会で協議した結果、昭和60年11月29日(金)と30日(土)の両日、岐阜市において吉田定宏理事の下で開催されることになった。

2) 1984年度JADR会計報告(事務局長より)

1983年11月1日～1984年10月31日

収 入 (円)		支 出 (円)	
前年度よりの繰り越し金	1,974,466	通信費	195,960
会費収入		印刷費	131,200
正会員 532名	1,278,000	会合費	13,360
賛助会員 7社	490,000	交通費	558,600
日本歯科医学会よりの寄付金	500,000	文房具費	69,840
銀行利息	29,763	第32回JADR大会準備補助金	700,000
		IADR理事会への出席者に対する 旅費補助金	300,000
		(小計)	(1,968,960)
		繰り越し金	2,303,269
合 計	4,272,229	合 計	4,272,229

覚道幸男教授(大阪歯科大学)と小林茂夫教授(新潟大学歯学部)に会計監査をお願いし、両教授の監査結果にもとづき、上記の会計決算書が了承された。

2. 協議事項

1) 1985年度JADR予算案

1984年11月1日～1985年10月31日

収 入 (円)		支 出 (円)	
前年度よりの繰り越し金	2,303,269	通信費	245,000
会費収入		印刷費	206,000
正会員 3,000円×560名	1,680,000	会合費	285,000
賛助会員	490,000	交通費	728,000
1985年度日本歯科医学会よりの 寄付金	500,000	文房具費	73,000
銀行利息	30,060	特別講演費	100,000
		プラーク代金	50,000
		IADR理事会への出席者に対する 旅費補助金	300,000
		第33回JADR大会準備補助金	500,000
		名簿作成積立て金	560,000
		予備費	200,000
		(小計)	(3,247,000)
		繰り越し金	1,756,329
合 計	5,003,329	合 計	5,003,329

現在JADRの年間会費は2,000円であるが、諸物価の高騰、国際化時代を迎えIADRワシントン本部の幹部の来日による特別講演の実施、2年後に発行予定の名簿作成（印刷費と郵送費を含め約120万円必要）等により過去5年以来据置きとなっている年間会費をこの際1,000円値上げして、年間会費を3,000円とする上記の予算案が理事会で了承され総会（Business session）で承認を求めることになった。

Ⅱ. 第32回JADR大会について

昭和59年11月16日(金)と17日(土)の両日にわたり、第32回JADR大会が小沢英浩学会準備委員長の下で、新潟市の郵便貯金会館において開催された。出題数は口演発表と展示発表を含めて102題で3会場に分けて発表が行われた。参加者数は約350名であった。第1日目の15:45から総会（Business session）がもたれ、前日の理事会での報告事項ならびに協議事項について事務局長より説明があり、諸案件が承認された。その後、三浦不二夫新会長の就任挨拶があり、須賀昭一前会長の長年にわたるJADRへの功績をたたえ、感謝のプラークが須賀教授に贈呈された。

なお総会において三浦新会長より次の新役員が指名され了承された。

新 役 員 (1985~1986)

会 長	三 浦 不二夫	(東京医科歯科大学歯学部歯科矯正学)
副 会 長	大 橋 正 敬	(日本大学歯学部歯科理工学)
前 会 長	須 賀 昭 一	(日本歯科大学病理学)
事務局長	常 光 旭	(大阪大学歯学部予防歯科学)
理 事	小 沢 英 浩	(新潟大学歯学部口腔解剖学)
〃	吉 田 定 宏	(岐阜歯科大学小児歯科学)
〃	木 下 善之介	(大阪歯科大学歯科矯正学)
〃	清 水 正 春	(鶴見大学歯学部口腔生化学)
〃	亀 山 洋一郎	(愛知学院大学歯学部病理学)

本学会ではIADR現会長Ten Cate, A. R.教授(トロント大学歯学部)の出席の機会を得たので、“Dentine”と題して有益な特別講演がもたれた。また新しい企画として“骨吸収”に関するシンポジウムがあり、基礎と臨床の研究者7名がそれぞれの立場から話題を提供し、活発な討論が行われ有意義な学会となった。

Ⅲ. 1985年第1回理事会

日 時：1月28日(月) 2:00pm

場 所：東京医科歯科大学歯学部会議室

出席者：三浦会長、大橋副会長、小沢、吉田、木下、清水、亀山各理事、常光事務局長

1. 報告事項

1) 第32回JADR大会の決算報告について

小沢理事より第32回 JADR 新潟大会の決算報告がなされ、収入・支出額は4,460,000円で残額は0円である旨説明があり了承された。

2. 協議事項

1) Presidents Committee へ田熊庄三郎教授(東京歯科大学)と森政和教授(大阪歯科大学)を推挙することを決定した。

2) 第33回 JRDA 大会は吉田定宏学会準備委員長の下で昭和60年11月29日(金)と30日(土)の両日岐阜歯科大学(昭和60年4月1日より朝日大学歯学部 Asahi University, School of Dentistry と改名される予定)で開催されるが、学会の運営内容等については次回の理事会で検討することになった。

3) 第63回 IADR ラスベガス大会の理事会への日本側代表者について

本年3月18、19日ラスベガス市において開催される IADR の理事会に三浦会長と常光事務局長ならびに須賀前会長が出席することが確認された。

4) JADR の機関誌の発行について新役員より種々の意見が出され、独自の機関誌をもつことに賛成の意向が強いが、具体的な話になってくると解決すべき問題も多いので継続審議事項となっている。

(文責 事務局長 常光 旭)

THE JAPANESE ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH

国際歯科研究学会日本部会事務局

〒565 大阪府吹田市山田丘1-8

大阪大学歯学部予防歯科学講座内

電話 (06) 876-5711 内線2281